

旅客流動シミュレーション による駅改良計画支援

Passenger flow simulation
for consideration of the station improvement plan

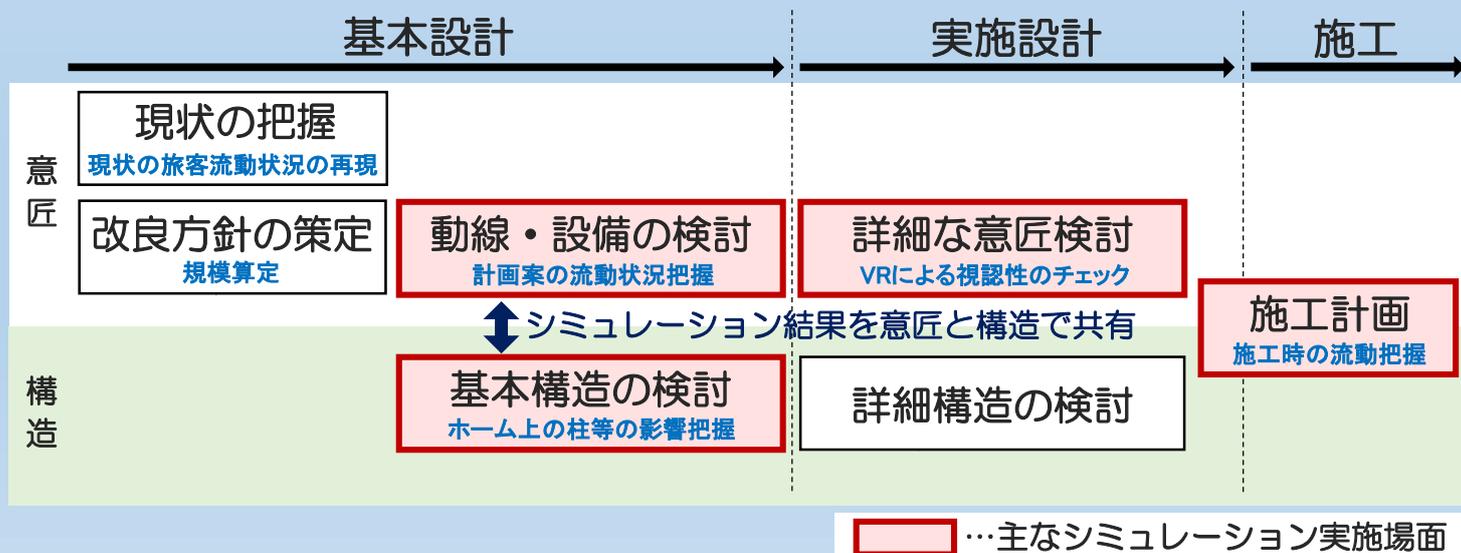
概要

駅改良の計画や改良工事の施工計画において、駅の旅客流動状況を検討することは、お客様の安全性および快適性の観点から重要になります。旅客流動シミュレーションでは、現状調査等による旅客流動データの作成および駅構内の流動状況を再現・予測を行うことで、改良計画案等における旅客流動状況を可視化し、意思決定を支援しています。

特長

- 駅構内の旅客流動状況を俯瞰図で確認できます。
- ヘッドマウントディスプレイを使用することでシミュレーション空間内を旅客目線で確認（VRチェック）することができます。
- 防犯カメラの映像等を活用することで、シミュレーションに必要な入力条件（旅客動線データ）を簡易に作成することも可能です。

駅改良におけるシミュレーションの活用場面



用途

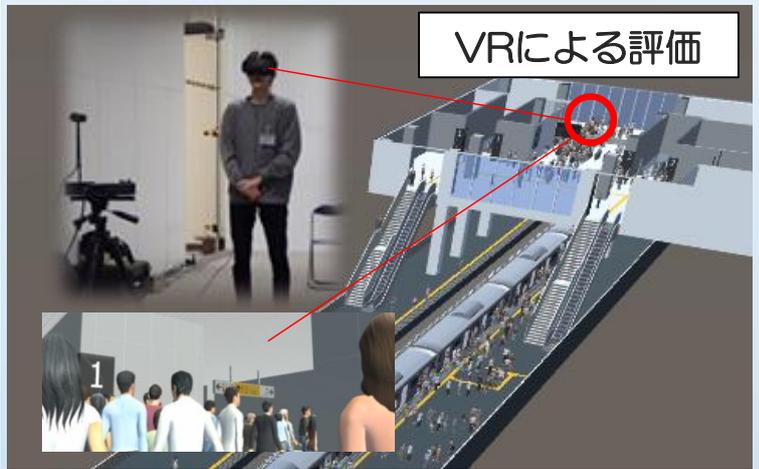
- 駅の改良計画案を検討する際に、旅客流動の観点から計画案をチェックすることが可能です。
- 工事期間中の仮囲い設置が旅客流動に与える影響などを検討できます。

旅客流動シミュレーションの実施例



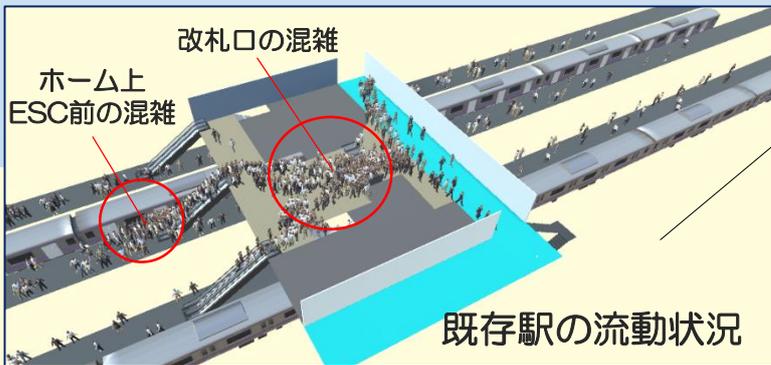
インプットデータ作成

防犯カメラ等の映像を解析し
断面交通量を計測



VRによる評価

シミュレーションとVRの連携による
駅空間（サイン視認性等）の検証

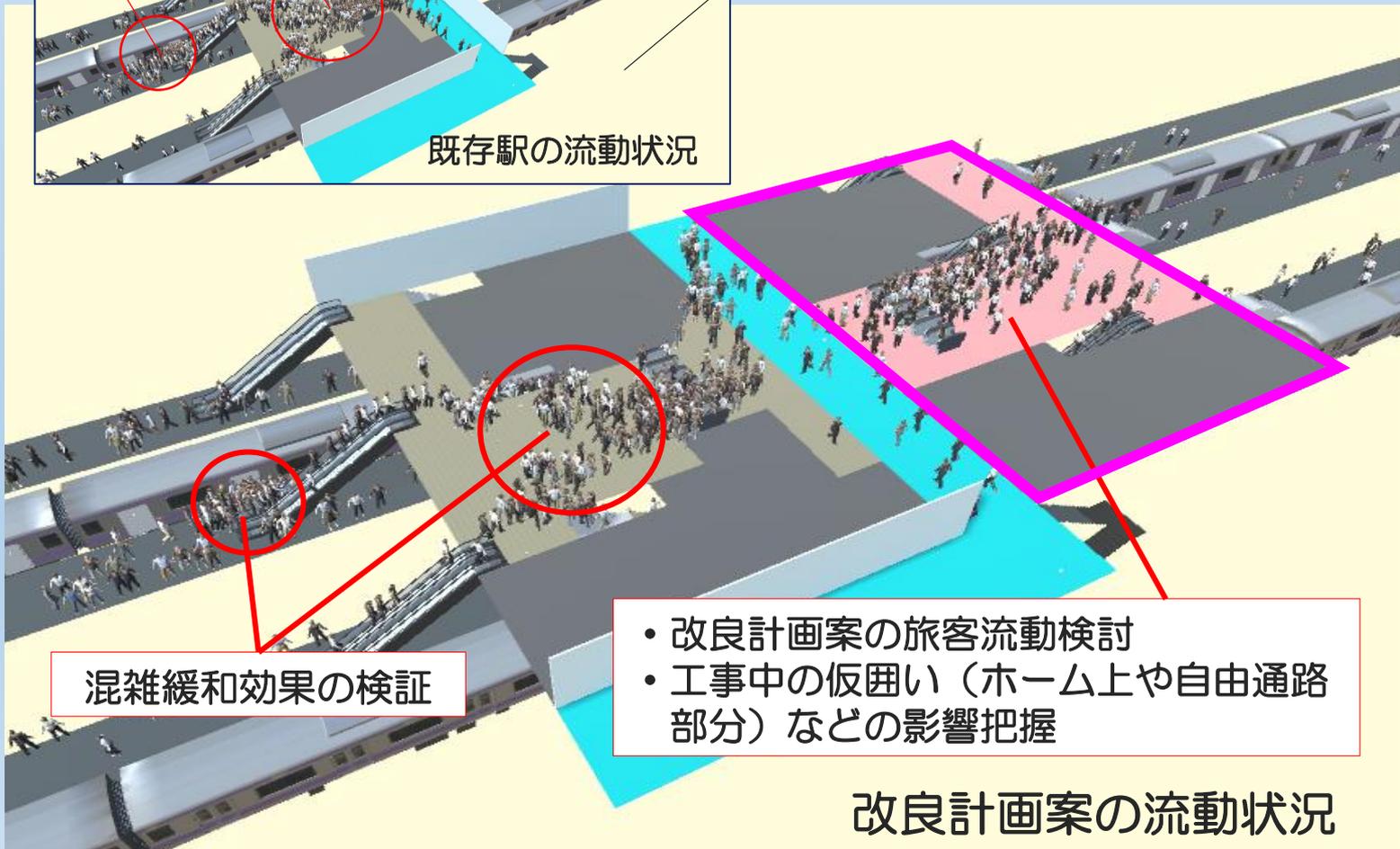


ホーム上
ESC前の混雑

改札口の混雑

既存駅の流動状況

現状再現シミュレーションによる
既存駅の課題抽出



混雑緩和効果の検証

- 改良計画案の旅客流動検討
- 工事中の仮囲い（ホーム上や自由通路部分）などの影響把握

改良計画案の流動状況